

高等学校 令和8年度（3学年用） 数学

数学B

教科： 数学

科目： 数学B

単位数： 2 単位

対象学年組： 第 3 学年 1 組～ 5 組

教科担当者：

使用教科書：（最新 数学B 数研出版）

教科 数学

の目標：

【知識及び技能】数学における基本的な概念や原理・法則を体系的に理解している。

【思考力、判断力、表現力等】事象を論理的に考察する力、発展的に考察する力を身に付けている。

【学びに向かう力、人間性等】継続的に数学のよさを認識し、積極的かつ確実に粘り強く数学的論拠に基づいて取り組もうとしている。

科目 数学B

の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
数列、統計的な推測についての基本的な概念や原理・法則を体系的に理解するとともに、数学と社会生活の関りについて認識を深め、身に付けることができる。	離散的な変化の規則性に着目し、事象を数学的に表現し考察する力、確率分布や標本分布の性質に着目し、母集団の傾向を推測し判断したり、標本調査の方法や結果を批判的に考察したりする力を身に付けることができる。	数列、統計的な推測の良さを認識し、意欲的に課題に取り組もうとしている。また、問題解決の過程を振り返って、継続的に考察を深めたり改善しようとしたりしている。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配当 時数
1 学 期	A 数列① 【知識及び技能】 数列の用語の意味と基礎的な計算 【思考力、判断力、表現力等】 数列の一般項と和の概念 【学びに向かう力、人間性等】 数列の計算と活用	数列 等差数列・等比数列 等差数列・等比数列の和 和の記号 いろいろな数列の和	【知識・技能】 数列の基本について理解し、基礎的なものについての一般項を求めることができる。 【思考・判断・表現】 数列の規則性をみつけ、一般項と和を求めることができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 数列の計算について正しく理解し、問題解決に活用しようとしている。	○	○	○	14
	定期考査			○	○		1
	B 数列② 【知識及び技能】 階差数列と漸化式の計算 【思考力、判断力、表現力等】 階差数列と漸化式の考え方 【学びに向かう力、人間性等】 漸化式の活用	階差数列 漸化式と一般項 数学的帰納法	【知識・技能】 階差数列と漸化式を求めることができる。 【思考・判断・表現】 階差数列により一般項を推定したり、漸化式で決まる数列の一般項を求めることができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 漸化式からいろいろな数列の一般項を求めよ	○	○	○	14
定期考査			○	○		1	
2 学 期	C 確率分布 【知識及び技能】 期待値、分散、標準偏差の計算 【思考力、判断力、表現力等】 確率分布の特徴 【学びに向かう力、人間性等】 確率分布の活用	確率変数と確率分布 期待値と分散、標準偏差 二項分布 連続型確率変数 正規分布	【知識・技能】 期待値、分散、標準偏差を求めることができる。 【思考・判断・表現】 いろいろな確率分布の特徴を考察することができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 確率分布を活用して様々な事象を主体的に考察しようとしている。	○	○	○	14
	定期考査			○	○		1
	D 統計的な推測 【知識及び技能】 母集団と標本調査の基本的な概念 【思考力、判断力、表現力等】 標本調査の考え方 【学びに向かう力、人間性等】 統計の活用	母集団と標本 標本平均の分布 母平均、母比率の推定 仮説検定	【知識・技能】 母集団と標本調査の関係を理解している。 【思考・判断・表現】 標本調査から母集団の傾向を推測したり考察したりすることができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 標本調査や全数調査を活用しようとしている。	○	○	○	14
定期考査			○	○		1	
3 学 期	E 数学と社会生活 【知識及び技能】 事象の数学化 【思考力、判断力、表現力等】 問題解決 【学びに向かう力、人間性等】 数学の活用	データの推定 偏差値	【知識・技能】 日常の事象や社会の事象を数学化することができる。 【思考・判断・表現】 日常の事象や社会の事象を数学化して、問題解決したり解決の過程や結果を振り返ることができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 日常の事象に数学を活用しようとしている。	○	○	○	9
	定期考査			○	○		1

合計
70